

ショートコメント – ポジティブ

■ 香港取引所(HKEx)と上海証券取引所(SSE)の間での相互取引



京華山一

Core Pacific - Yamaichi

最新情報

香港証券先物委員会(HKSFC)と中国証券監督管理委員会(CSRC)は、上海市場と香港市場の接続のための試験プログラムの開発に関して共同発表を行った。今回の共同発表によれば、当局は中国本土と香港の両市場間での株式の相互取引を認可する。上海証券取引所(SSE)と香港証券取引所(SEHK)は、投資家が地元の証券会社や仲介業者を通じてもう一方の市場に上場されている適格株式を取引できるようにする。

当社の見方

- 上海証券取引所の適格株式は、SSE180 指数ならびに SSE380 指数の全構成銘柄、それに上海証券取引所と香港証券取引所の両方に上場されている全企業の株式である。香港証券取引所における適格株式は、ハンセン総合大型株指数ならびにハンセン総合中型株指数の全構成銘柄、それに上海証券取引所と香港証券取引所の両方に上場されている全企業の株式である。
- 試験プログラムの総割当枠は、香港証券取引所上場株が 3,000 億人民元、上海証券取引所上場株が 2,500 億人民元である。
- 上海市場と香港市場の相互接続の準備には 6 ヶ月かかる予定である。適格株式と割当枠は共に将来調整される可能性がある。
- 現在、国内適格機関投資家(QDII)/海外適格機関投資家(QFII)枠はそれぞれ 396 億 US ドル、536 億 US ドルであり、人民元海外適格機関投資家(RQFII)枠は 2,005 億人民元である。今回のプログラム案により、全ての機関投資家ならびに適格個人投資家が市場に参加できるようになることから、市場の相互接続が更に進むだろう。
- 同プログラムにより、世界の主要株式市場としての香港証券取引所の立場が強化されるだろう。大型上場企業に投資する長期投資家が増えるという点において、同プログラムは上海証券取引所にとってポジティブである。2 つの市場間での相互取引は人民元建てで行われることから、同プログラムは人民元の国際化に向けた大きな一歩でもある。
- 当社は、重複上場している A 株と H 株の価格差が同プログラムを受けた裁定取引期待により概ね解消されると見ている。加えて、市場の自由化が進行する中で市場参加者の層が厚くなることから、2 つの市場間でバリエーションギャップも将来縮小する可能性が高い。

免責条項: 本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告無く変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィック・グループの企業、同グループに関係ある個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。